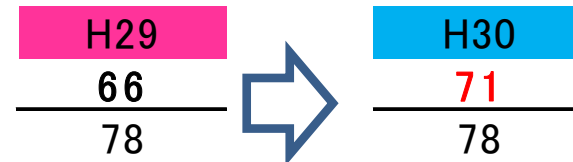


■取組方針フォローアップ【小丸川】  
 (1) 水害に強い人づくりの推進

【取組状況】

①延べ実施項目数/延べ全項目数：



②主な取組内容 H30：

●「川を通じたコミュニティーづくり」

- 教育委員会やスポーツ少年団主催の川とのふれあいイベントが行われている。
- 漁協と連携した稚魚放流が行われている。
- 水質調査など住民の川への意識向上がはかれるとともに、官民の連帯感が強まっている。

●「防災学習の推進」

- 教育委員会を中心とした合同避難訓練の実施や、木城小学校（風水害）避難訓練で防災説明会が行われている。
- 自治会・老人クラブ等へハザードマップを活用した防災学習が実施されている。
- 高鍋町では多機関と連携した防災会議が実施されている。
- 教育委員会を通じ小中学校へ防災学習教材の提供を行っている。

●「自主防災組織の結成と積極的活動」

- 説明会・支援・訓練等が実施されている。
- 備蓄品拡充が実施されている。

●「防災リーダーの育成」

- 各機関において連携・フォローアップが実施されている。

●「ハザードマップ作成」

- ハザードマップを活用して避難訓練や防災学習が行われている。

③今後の課題：

- 住民の水防災意識の向上を図るため、国・県・市が連携した「出前講座、防災学習、シンポジウム等」に取り組んでいく必要がある。
- ハザードマップの作成については、作成後の活用（実践的な訓練への使用等）の検討が必要である。（避難経路、避難のタイミング）

<主な取組内容>

具体的目標：1. 水害に強い人づくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		小丸川		2協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎県	宮崎河川
①川を通じたコミュニティーづくりの推進	継続	●	○	○	○	○
②防災学習の推進	継続	●	●	○	●	●
③自主防災組織の結成と積極的活動	継続	●	●	○	○	●
④防災リーダー（地域防災士、水防団等）の育成	継続	○	●	○	○	●
⑤住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成（※）	【小丸川】H30年度	○	○	○	○	○

（※）最大規模洪水を対象とする。 ○：取組継続 ●：進捗

①について

・教育委員会主催イベント、姉妹都市交流事業<高鍋町>・漁協連携(稚魚放流)<木城町>・水辺のモニター<宮崎県>・川づくり交流会、水質調査<宮崎河川>

②について

・広告たかなへ防災特集記事掲載、ハザードマップを活用した学習、防災出前講座、高鍋町防災会議(多機関連携)、防災士の養成、教育研究所防災マニュアル・計画に基づく防災教育、教育委員会を中心とした合同避難訓練<高鍋町>・広報誌掲載、ハザードマップを活用した学習(自治会・老人クラブ)、木城小学校全校生徒防災学習<木城町>・土砂災害防止教室、<宮崎県> ラジオ放送、宮崎県教育庁と連携した防災学習、小中学校にて津波防災ワークショップ<気象台>・防災ラジオ放送、防災ポータルサイト開設、Facebookによる訓練等の情報発信、ホームページをわかりやすく改良、木城町(風水害)避難訓練での防災説明、防災学習素材提供<宮崎河川>

③について

・自主防災組織育成、補助金案内、避難訓練、津波・土砂災害避難訓練実施、高鍋町避難行動要支援者避難支援プランに基づき名簿更新、支援計画作成着手、H30年度より女性消防団員制度を新設、消防団装備等の充実、社会資本整備総合交付金を活用した防災資機材購入<高鍋町>・自主防災組織説明会、各自主防災組織の防災訓練、福祉保健課と包括支援センターが要支援者避難誘導、自治会・老人クラブハザードマップを活用した防災学習及び訓練、備蓄食料更新、<木城町>・企業防災訓練や研修会への防災士派遣、要配慮者施設に係る道路網連絡調整会議開催、新規結成自主防災組織補助事業<宮崎県>・防災学習・広報、要配慮者利用施設管理者説明会<気象台>・啓発・川の防災情報チラシ配布、防災訓練、Facebookによる訓練等の情報発信<宮崎河川>

④について

・防災士養成<対象市町全機関>・防災士研修講師派遣<宮崎県・気象台・宮崎河川>・専門操作説明会、水閘門点検、合同巡視<宮崎河川>

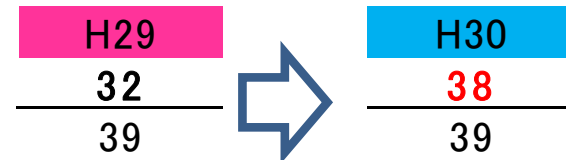
⑤について

・想定最大洪水ハザードマップ作成<高鍋町、木城町>・出前講座等地域防災学習でハザードマップ活用<高鍋町>・ハザードマップを活用して避難訓練<木城町>

(2) 情報伝達のための環境づくりの推進

【取組状況】

①延べ実施項目数/延べ全項目数



②主な取組内容 H30:

●「要配慮者を考慮した避難・誘導」

- 要配慮者名簿の作成・更新作業、説明会が実施されている。
- 高鍋町では、高鍋町避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）を策定し、福祉課、社会福祉協議会等と連携し、地域の要支援者の把握、避難・誘導體制の確立のためのマップづくりがはじまっている。
- 木城町では、福祉保健課・包括支援センターが個別に要支援者に連絡を取って避難誘導している。
- 木城町では各施設にハザードマップ配布し水害リスクや防災情報周知、町内の要配慮者施設の避難確保計画策定済み。
- H31.1 に延岡市で要配慮者利用施設の所有者説明会が開催され、技術的支援が実施。

●「避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用」

- 各機関において体制整備に「タイムライン」が活用されており、タイムラインを活用した図上訓練が実施されている。

●「迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化」

- 国土交通省では、H30.5～洪水情報のプッシュ型配信が開始されている。
- 国土交通省では、H31 年度～小丸川における危機管理型水位計情報の配信を行っている。

●「学習会による災害情報の共有」

- 想定最大ハザードマップの作成や避難所看板刷新が行われている。

③今後の課題:

- H30 年出水の振り返り（内水検討会）を受け、情報発信・共有については、関係機関で共有するための仕組み（タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル等）を強化する必要がある。

<主な取組内容>

具体的目標:2. 情報伝達のための環境づくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		小丸川		2協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎県	宮崎河川
①要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進	継続	○	●	●	○	○
②避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用	H29年度	○	○	○	○	○
③迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化	継続	○	○	○	○	●
④学習会等による災害情報の共有(※)	【小丸川】H30年度	●	●	/	/	○

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・自主防災組織を含む防災訓練を実施、福祉避難所指定<高鍋町・木城町>  
 ・避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)、名簿更新、福祉課、社会福祉協議会連携し要支援者マップ作り<高鍋町>・避難行動要支援者名簿作成、一部の福祉施設において避難訓練を実施、各施設にハザードマップ配布実施、要配慮者施設の避難確保計画策定済み、一部の要配慮者施設で避難訓練実施<木城町>・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県・気象台・宮崎河川>

②について

・体制整備へのタイムラインの活用<高鍋町・木城町>  
 ・タイムラインを活用した災害図上訓練の実施<気象台・宮崎河川>

③について

・防災行政無線戸別受信機の無償貸与、SOSネットワーク加入促進、広報誌での特集<高鍋町>・無線告知システム(全戸設置)を活用<木城町>・イベント時「チラシ」配布<宮崎県・宮崎気象・宮崎河川>・洪水情報のプッシュ型配信、危険管理水位計情報配信の開始<宮崎河川>

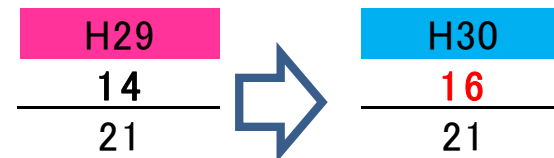
④について

・想定最大洪水ハザードマップ作成、洪水浸水見直しに伴い平成30年度に浸水情報看板を更新<高鍋町・木城町>・浸水情報看板「まるごとまちごとハザードマップ」更新<宮崎河川>

(3) 水害に強いまちづくりの推進

【取組状況】

①延べ実施項目数/延べ全項目数



②主な取組内容 H30:

- 「都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導」

→未実施

- 「安全な避難路・復旧路の整備」

→避難ルートの特検等が行われている。

→宮崎県では最大規模の洪水浸水想定区域図を公表しているほか、主要路線を緊急輸送道路に指定している。

→宮崎河川では広域的な河川氾濫を想定した排水計画の検討を実施。

- 「安全な避難場所確保」

→高鍋町では洪水ハザードマップを全戸配布し、指定避難所、津波避難ビル等を継続指定している。なお、広域避難は検討中。

→木城町では浸水区域内の避難場所を洪水時に開設しない対策をとっている。

- 「高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進」

→木城町では要配慮者施設を訪問し自衛水防組織設置指導を実施。

→(参考:延岡)説明会の開催で施設所有者への技術的支援を実施している。

- 「排水ポンプ車による排水計画の策定」

→宮崎河川では広域的な河川氾濫を想定した排水計画の検討を実施。

③今後の課題:

→河川氾濫等の各種検討や訓練にあたっては、ハザードマップ等を活用しつつ、避難経路、避難のタイミング等の理解促進するなど、地域特性を踏まえる対応が重要である。

<主な取組内容>

具体的目標:3. 水害に強いまちづくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		小丸川	2協議会			
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎県	宮崎河川
①都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導(※)	H29年度以降		○	/	/	/
②安全な避難路・復旧路の整備(※)	H29年度以降	○	○	○	/	●
③安全な避難場所の確保(※)	[小丸川]H30年度	○	○	/	/	/
④高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進	継続		○	○	/	○
⑤排水ポンプ車による排水計画の策定(※)	H30年度	/	/	/	/	●

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・未実施

②について

・町道等109路線を避難路として指定し、点検・整備を進めている。(高鍋町)・避難路点検を実施(木城町)・県管理河川の想定しうる最大規模洪水浸水想定区域図公表、主要路線を緊急輸送道路指定(宮崎県)・広域的な河川氾濫を想定した排水計画検討実施(宮崎河川)

③について

・指定避難所、津波避難ビル点検し継続指定確認、新避難場所検討、広域避難検討中<高鍋町>・浸水区域内の避難場所を洪水時に開設しない対策<木城町>

④について

・要配慮者施設を訪問し自衛水防組織の設置指導<木城町>・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県・宮崎県・宮崎河川>

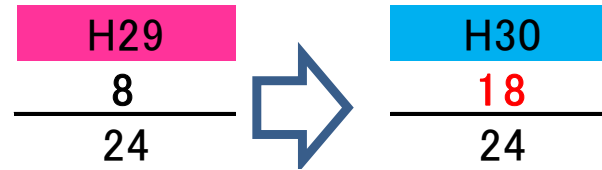
⑤について

・広域的な河川氾濫を想定した排水計画の検討実施(宮崎河川)

(4) 水害に強い防災拠点づくりの推進

【取組状況】

①延べ実施項目数/延べ全項目数



②主な取組内容 H30:

●「浸水時にも活用出来る水防倉庫、アクセス路整備」

→最大浸水想定区域を基に点検確認が実施されている。

●「浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策」

→地域防災計画及び業務継続計画の見直しが行われている。

→高鍋町では防災会議で共有している。

→木城町ではハザードマップをライフライン企業に配布し、九州電力と災害時の電力設備に関する協定を締結し、早期復旧体制の構築をおこなっている。

→宮崎県では、業務継続計画を策定し運用している。

→宮崎河川ではインフラ緊急点検を実施し、排水施設の機能維持対策の実施が予定されている

●「防災ステーション等防災拠点の整備」

→高鍋町では、平成28年度から津波避難タワー建設に着手し、平成29年度に1箇所、平成30年度に1箇所完成している。その他、災害対策本部機能強化、指定避難所整備を実施中。

→木城町では耐震補強工事を実施している。

③今後の課題:

→各関係機関と課題を共有し、さらなる取組を進めていきたい。

→河川氾濫等の点検等にあたっては、ハザードマップ等を活用しつつ、アクセス路、タイミング等の理解促進するなど、地域特性を踏まえる対応が重要である。

< 主な取組内容 >

具体的目標:4. 水害に強い防災拠点づくりの推進	目標時期	【直轄区間】				
		小丸川		2協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備(※)	【小丸】H30年度	○	○			●
②浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策(※)	H32年度	○	○	●		●
③防災ステーション等防災拠点の整備(※)	H32年度	○	○			

※最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・ハザードマップで点検実施<高鍋町>・水防倉庫は、浸水想定区域に入っていないため、現状のまま活用する。<木城町>  
・決壊シミュレーション訓練を実施<宮崎河川>

②について

・地域防災計画及び業務継続計画の見直し、高鍋町防災会議にて共有<高鍋町>・ハザードマップをライフラインの企業に配布、九州電力と災害時の電力設備に関する協定を締結し早期復旧の体制を構築した。(木城町)・宮崎県業務継続計画を策定し運用(宮崎県)・インフラ緊急点検を実施し、排水施設機能維持対策が必要な対策を行う予定<宮崎河川>

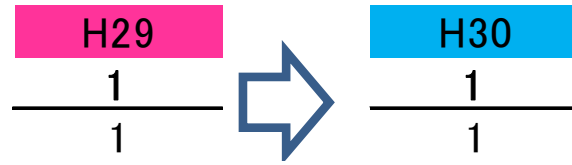
③について

・津波避難タワー建設、災害対策本部機能の強化、指定避難所の整備<高鍋町>・防災拠点の耐震補強工事を実施<木城町>

(5) 被害を最小にするハード整備

【取組状況】

①延べ実施項目数/延べ全項目数



②主な取組内容 H30:

●「洪水を安全に流すためのハード対策」

→平成25年8月に策定された河川整備計画及び平成27年9月関東・東北豪雨災害を契機に着手した「流下能力対策」について、河道掘削工事を実施中。

③今後の課題:

→引き続き、ハード整備を推進し、被害を最小にする取組を必要とする。

<主な取組内容>

具体的目標:5. 被害を最小にするハード整備	【直轄区間】				
	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎県	宮崎河川
①洪水を安全に流すためのハード対策 ※最大規模洪水を対象とする。	継続	/	/	/	●

○:取組継続 ●:進捗

①について

・河道掘削を実施中(宮崎河川)